

魚病診断結果について

湯浅明彦

水産研究所では水産動物の疾病の発生・伝播の防止及び被害の軽減を図るために、疾病の監視や疾病対策の指導を行っている。また、魚病相談室を設けて病魚の診断や対策指導を行っている。今年度の魚病診断の結果について報告する。

魚病診断件数

平成18年4月から平成19年3月の間に水産研究所で行った、養殖対象種と中間育成中の種苗の月別診断件数を表1に示した。なお、コイはKHV（コイヘルペスウイルス病）の発病が疑われた河川での死亡魚や、愛好家が飼育していたニシキゴイの検査件数である。海面養殖で19件、内水面で47件の魚病診断を実施した。

表1 平成18年魚種別の月別診断件数

魚種名	年 H18										H19				計
	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
海面養殖	ブリ (0才)			1	1	1								3	
	ブリ (1才以上)		1				1	1	1					4	
	カンパチ						1	1						2	
	ヒラメ					1								1	
	ヒラメ (稚魚)							1						1	
	マダイ		2				1							3	
	アオアジ			1										1	
	スズキ								1	1				2	
	クルマエビ					1								1	
	エゾアワビ											1		1	
小計		3	1	1	3	4	4	2	0	0	1	0	0	19	
内水面	アユ		1	2		1	1				4	4	4	2	19
	ウナギ			2	2	1	1	3	2	1	1		1	1	15
	コイ		1	3	5	1	3								13
	小計		2	7	7	3	5	3	2	1	5	4	5	3	47

表2 平成18年海面養殖関係魚病診断結果

魚種名	病 名	年 H18								H19								計
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
ブリ	αレンサ球菌症		1													1		
	ビブリオ病					1	1									2		
	類結節症				1											1		
	ノカルジア症						1	1	1							3		
	イリドウイルス病						1									1		
	カリグス症						1									1		
	小 計		1	0	1	1	4	1	1	0	0	0	0	0	0	9		
カンパチ	ノカルジア症							1								1		
	イリドウイルス病						1									1		
	小 計		0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2		
ヒラメ	エドワジエラ症					1										1		
ヒラメ稚魚	健康診断							1								1		
	小 計		0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2		
マダイ	ビバギナ症		1				1									2		
	クビナガ鉤頭虫症		2				1									3		
	小 計		3	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	5		
アオアジ	ビブリオ病			1												1		
スズキ	不 明							1	1							2		
クルマエビ	PAV					1										1		
エゾアワビ	不 明											1				1		
合 計			4	1	1	3	7	4	2	0	0	1	0	0	0	23		

前年度と比較すると、海面で4件、内水面で32件減少した。内水面の診断件数の減少は、吉野川水系でのKHVによる被害の減少にともない検査件数が昨年の31件から13件に減少したこと、養殖アユの診断依頼が減少したことによるものである。

魚病診断結果

魚種別の月別診断結果を表2及び表3に示した。

海面養殖では、ブリ・カンパチにノカルジア症が8月以降みられた。播磨灘海域で9、10月に発生したズズキの原因不明の死亡は、小割生簀の飼育魚がほぼ全滅したことからウイルス病が疑われた。しかし、既往症として報告されているイリドウイルス病の検査の結果は陰性であった。7月に中間育成中のクルマエビに全滅に近い被害をもたらしたPAVの感染経路は不明である。

内水面では、アユの冷水病は診断件数が減少しているが養殖業に大きな被害をもたらしている。一方、シュードモナス病は発病件数、被害量ともに減少した。ウナギ養殖ではウイルス性鰓弁充血症が減少したが、バラコロ病及びエロモナス症などの条件性病原菌感染症は多発している。

表3 平成18年内水面関係魚病診断結果

魚種名	病 名	年 H18												H19				計
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	
ア ュ	冷水病			1		1					2	2	1					7
	冷水病+細菌性鰓病			1								1						2
	シュードモナス病+冷水病													1				1
	ビブリオ病										2	1	2					5
	細菌性鰓病						1											1
	水かび病+過食による障害														1			1
	浸透圧障害													1				1
	不 明		1															1
	小 計		1	2	0	1	1	0	0	0	4	4	4	2				19
	ウナギ																	
ウナギ	鰓弁充血症				1													1
	鰓弁充血症+エロモナス症			1														1
	バラコロ病				2				1	1			1					5
	エロモナス症					1	1	2										4
	アンモニア中毒症							1	1									2
	亜硝酸中毒症										1				1			2
	不 明			1														1
	小 計		0	2	3	1	1	3	2	1	1	0	1	1				16
コ イ	KHV陽性						2											2
	酸素欠乏症				1													1
	不 明		1	3	4	1	1											10
	小 計		1	3	5	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
合 計			2	7	8	3	5	3	2	1	5	4	5	3				48